

生きよう君らしく



ジェリービーンズのメンバー。左から八田典之さん、山崎史朗さん、雄介さん=NPO法人マイベースプロジェクト提供

野洲で9日演奏 体験歌と語りで

不登校乗り越えた大津の3人組バンド

ジェリービーンズは、ドさん(28)と双子の弟でボーラムとコラスの山崎雄介 カル、ギターの史朗さん

(28)、リーダーでベースの八田典之さん(30)が1998年に結成。3人は市内の住宅地「びわ湖ローズタウン」で育ち、今も暮らしている。

♪

雄介さんは小5のころ、教師から「字が汚い」と言われて自信を失い、次第に「自分は必要のない人間だ」と考えるようになつた。睡眠薬を飲んで自殺を図ろうとした時、母親から「元気でいてくれるだけでも十分」と抱きしめられ、初めて自分という存在を認められたと感じたという。

史朗さんは友人が同級生から無視されるいじめを受けているのに助けてあげられない自分に耐えきれなくなり、小5から中3まで不登校になつた。八田さんは

大津市北部の住宅地で育った幼なじみによる3人組のバンド「ジェリービーンズ」が9日、野洲市でコンサートを開く。ともに不登校を経験し、バンド活動を通じて過去を乗り越えることができた3人は、自身の経験をもとにした歌と語りで、「自分らしく生きよう」というメッセージを伝えようとしている。

小6で友人関係につまずき、中学卒業まで学校に通えなくなつた。雄介さん、史朗さんは中2の夏休みに、不登校の親の会で、2歳上の八

9日のコンサートは野洲市小篠原の共同作業所「陽だまり」を運営するNPO法人が企画。作業所には、いじめを受けた影響で精神のバランスを崩した人もいる。今回のいじめ問題を機に「つらいと言える場所があればよかつた」などと話しあっているという。

史朗さんが書いた「果実」という曲の歌詞だ。演奏の合間に自分たちの言葉で体験を語る。

大津市で起きた中学生の自殺問題に関心が集まるが、いじめられている子がいれば、雄介さんは「自分が、いじめられている子がいないで」と声を掛けたいという。そして、いじめている子に対しても、史朗さんは「自分の弱い心の中に因がある。そのことに気づいて」と願う。

9日のコンサートは野洲市小篠原の共同作業所「陽だまり」を運営するNPO法人が企画。作業所には、いじめを受けた影響で精神のバランスを崩した人もいる。今回のいじめ問題を機に「つらいと言える場所があればよかつた」などと話しあっているという。

陽だまり職員の奥田真優佳さん(26)は「『自分らしく生きる』というメッセージに共感した。いじめに心が集まる今こそ広く知つてもらいたい」と話し、施設の利用者がいじめ体験を話す時間も設ける予定。

コンサートは9日午後1時半から、野洲市市三宅の「コミュニティセンター」の1階で開かれる。無料。定員200人。申し込みは、陽だまり(077-5886-7338)へ。(大坂尚子)